

吉野川水系河川整備計画

平成29年度 第1回 吉野川学識者会議 を開催しました

吉野川における安全・安心の向上を図るため、堤防の侵食対策と、南海トラフ地震等を想定した堤防等の地震・津波対策を進めていくにあたり、学識者の意見をうかがいました。

平成27年度に実施した河川整備計画点検において、堤防の侵食対策及び地震・津波対策については、吉野川学識者会議に部会を設置し、意見を伺いながら検討を進めることとしました。

平成28年度に部会を開催し、検討した侵食対策及び地震・津波対策について、今回、吉野川学識者会議に報告し、意見を伺いました。

その結果、本会議で議論した内容は非常に重要なことであり、整備計画の変更においても、しっかりと反映していただきたいとの意見をいただきました。

今後、河川整備計画の変更原案において反映を予定しています。

□開催日時：平成29年5月25日（木）

10:00～12:00

□開催場所：徳島県郷土文化会館

（4階 大会議室）

□出席委員：15名

□傍聴者：8名

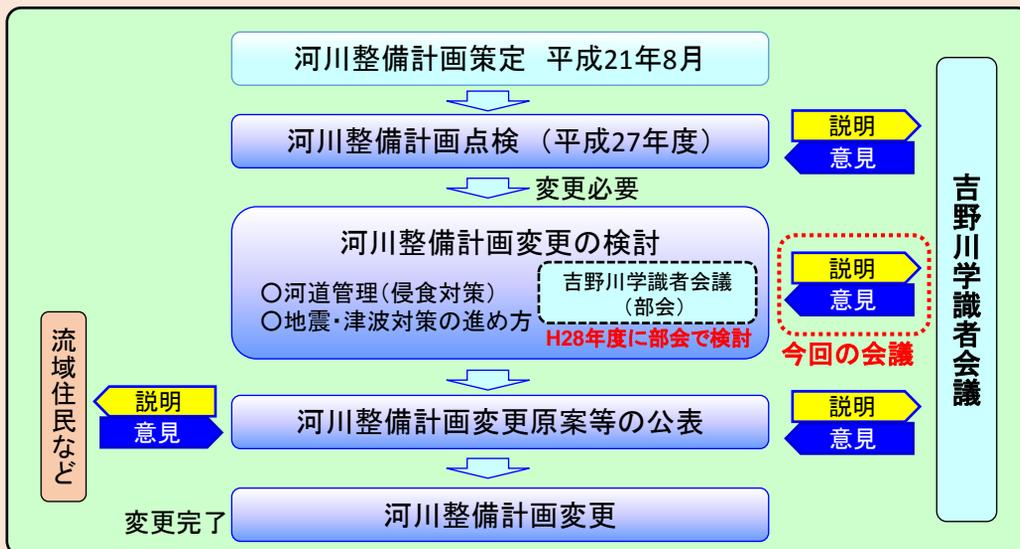


吉野川学識者会議 委員名簿

氏名	専門分野	所属	氏名	専門分野	所属
池田 早苗	水質（水環境）	徳島大学 名誉教授	田村 隆雄	治水計画（森林水文学）	徳島大学大学院 准教授
渦岡 良介	地盤工学・地震工学	京都大学防災研究所 教授	田村 典子	児童教育	四国大学生活科学部 教授
角道 弘文	農業水利	香川大学工学部 教授	中野 晋	沿岸域工学	徳島大学環境防災研究センター 教授
鎌田 磨人	生態系管理（生態学）	徳島大学大学院 教授	中村 昌宏	地域経済	元徳島文理大学総合政策学部 学部長
河口 洋一	魚類学	徳島大学大学院 准教授	平井 松午	歴史地理学・歴史GIS	徳島大学大学院 教授
木下 覺	植物分類学	徳島県植物研究会 会長	三神 厚	防災対策（地震）	東海大学工学部 教授
上月 康則	水環境（環境工学・生態系工学）	徳島大学環境防災研究センター 教授	武藤 裕則	洪水防御（河川工学・水理学）	徳島大学大学院 教授
小林 實	鳥類	河川・溪流環境アドバイザー	大和 武生	文化史・文化財	阿南市文化協会 会長
田中 俊夫	地域福祉	徳島大学 教授	山中 英生	地域づくり	徳島大学大学院 教授

※角道委員と河口委員と田村（典）委員は所用により欠席となりました。欠席された委員には事務局より事前に意見を伺い、会議の中で議長へ報告しました。

●吉野川水系河川整備計画点検及び変更の流れ



田中 俊夫

議長 中野 晋

小林 實

田村 隆雄

上月 康則

中村 昌宏

木下 覺

平井 松午

鎌田 磨人

三神 厚

渦岡 良介

武藤 裕則

池田 早苗

大和 武生

山中 英生

●吉野川学識者会議のご意見

1. 吉野川の河道管理（侵食対策）について（案）

- みお筋は絶えず変化するものであるため、みお筋の経年的な平面変化も加えて総合的に評価すべき。
- 偏流や局所洗掘による被害は吉野川以外の河川でも発生しているのか。
- 西原箇所ではハード対策実施後にもモニタリングをすることとしていることから、「侵食リスクが高い箇所の抽出及び評価の考え方フロー」においてもハード対策後のモニタリングの実施を明記することが望ましい。
- 本会議に提案された「吉野川の河道管理（侵食対策）について（案）」を了承する。

2. 吉野川地震・津波対策の進め方に対する評価手法について（案）

- 破堤しない堤防をつくることは考えないのか。
- 県管理の支川堤防沈下と、支川からの氾濫は考慮しているのか。
- 施設整備の対象とする津波と昭和南海地震による津波はどのような関係なのか。
- 地震が発生すれば、地盤沈下も発生するため、想定される浸水範囲は、広くなるのではないのか。
- 洪水対策の整備として河川整備計画に位置付けられている区間と、優先度の評価対象となる区間について、違いが分かりにくいので、分かり易い工夫をお願いしたい。
- 本会議に提案された「吉野川地震・津波対策の進め方に対する評価手法について（案）」を了承する。

今回の会議のまとめ

- 本会議において、「吉野川の河道管理（侵食対策）について」、「吉野川地震・津波対策の進め方に対する評価手法について」について了承をいただきました。
- 本会議での結論は非常に重要なことであり、吉野川水系河川整備計画の変更においても、しっかりと反映していただきたいとの意見をいただきました。

●【平成29年度 第1回 吉野川学識者会議】の会議資料は、徳島河川国道事務所のウェブサイトからダウンロードすることができます。